

普通科生物21班

安価な肥料で育てた野菜を高価な肥料で育てた野菜に近づけるにはどうすればよいか

飯干瑛太 尾川貴仁 那須悠大 野崎久美子先生 岩室貴詞先生

研究の動機

あまりお金を使わずに野菜を高品質にするためにはどうすればよいか知りたくなったから。

研究の目的

安価な肥料に何をすれば高価な肥料に近づくか調べる。

先行研究

- ・高価な肥料で育てた方が品質が良い。
- ・生ゴミなどの肥料以外で高品質になるための材料がわからない



研究方法

水(500mL)、土の量、日のあたり具合、日照時間を同じにする。
糖度、色、重さなどで違いを見る。
高価な肥料、安価な肥料+コンポストした土、安価な肥料のみの3つを育てて比べる。



必要な道具

- ・プランター・ジョーロ・高価な肥料
- ・安価な肥料・黒土・生ごみ・ダンボール
- ・コンポスト基材・スコップ
- ・網目状の台・糖度計・トマトの苗

仮説

・生ゴミは肥料的な栄養価があるので生ゴミ(コンポストしたもの)を入れたら高価な肥料に近づく。



研究計画

- ・生ゴミは家で出たのを使用。
- ・生ゴミは特にこれがいいなどは無いので家でよくでる肉、魚、野菜を使用する。
- ・野菜はミニトマトを使用。
- ・生ゴミを集める。
- ・ミニトマトを育てる。
- ・ミニトマトができたら、糖度、色、大きさを違いを見る。

4～5月	コンポスト作り
6～7月	トマトを植える 成長速度を見る
夏休み	水やり
9～10月	水やり・収穫 糖度をはかる
11～12月	考察

参考文献

<https://www.pref.tottori.lg.jp/236845>.
鳥取流生ごみコンポスト